|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 13 | 地震　避難する際の注意点（３）  初期消火への対応 落ち着いて行動を | げるときにすること（３）  さいをつけたら、ちいてをしましょう |
|  | もし身の回りに火の手が上がっている場所があったら、まず自分で消すことができるかどうか落ち着いて判断してください。 もし、火がまだ小さければ、消火器を使うか毛布を風呂の水などでぬらして上からかぶせると、燃え広がるのを防ぐ効果があります。 周りに人がいる場合は、消火器や風呂の水などを使って、一緒に火を消すことができないか声を掛けてみてください。 すでに火が燃え広がり、自分で消すことが難しい場合は、周囲の安全を確認しながら速やかに逃げてください。 周辺を広く見回して、火災が迫ってきていないかよく注意し、火災に巻き込まれないようにしてください。 余震で大きな揺れがあった場合などは、念のため、火災が起きていないかを一緒に避難している人たちで手分けして確認しておくと、より安全です。 | もし、くでをつけたら、まず、ですことができるかどうかちいてえてください。  もし、がさかったら、をうか、をでぬらしてからかぶせると、がえます。  くにがいるは、にをすことができるかしてください。  がきくてですことがしいは、いでがないほうへげてください。  のあと、がきていないか、くのとにするとです。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 13 | 地震　避難する際の注意点（３）  初期消火への対応 落ち着いて行動を | 地震（じしん）　逃（に）げるときに注意（ちゅうい）すること（３）  小（ちい）さい火事（かじ）を見（み）つけたら、落（お）ち着（つ）いて火（ひ）を消（け）しましょう |
| もし身の回りに火の手が上がっている場所があったら、まず自分で消すことができるかどうか落ち着いて判断してください。 もし、火がまだ小さければ、消火器を使うか毛布を風呂の水などでぬらして上からかぶせると、燃え広がるのを防ぐ効果があります。 周りに人がいる場合は、消火器や風呂の水などを使って、一緒に火を消すことができないか声を掛けてみてください。 すでに火が燃え広がり、自分で消すことが難しい場合は、周囲の安全を確認しながら速やかに逃げてください。 周辺を広く見回して、火災が迫ってきていないかよく注意し、火災に巻き込まれないようにしてください。 余震で大きな揺れがあった場合などは、念のため、火災が起きていないかを一緒に避難している人たちで手分けして確認しておくと、より安全です。 | もし、近（ちか）くで火事（かじ）を見（み）つけたら、まず、自分（じぶん）で消（け）すことができるかどうか落（お）ち着（つ）いて考（かんが）えてください。  もし、火（ひ）が小（ちい）さかったら、消火器（しょうかき）を使（つか）うか、毛布（もうふ）を水（みず）でぬらして上（うえ）からかぶせると、火（ひ）が消（き）えます。  近（ちか）くに人（ひと）がいる場合（ばあい）は、一緒（いっしょ）に火（ひ）を消（け）すことができるか相談（そうだん）してください。  火（ひ）が大（おお）きくて自分（じぶん）で消（け）すことが難（むずか）しい場合（ばあい）は、急（いそ）いで火（ひ）がないほうへ逃（に）げてください。  地震（じしん）のあと、火事（かじ）が起（お）きていないか、近（ちか）くの人（ひと）と一緒（いっしょ）に確認（かくにん）すると安全（あんぜん）です。 |